安佐南区役所芸術展示　作品解説

【本作品の展示期間：2020 年 3 月 1 日から約 1 年間】

日本画展示作品「HARENOHI」　　吉田 奈保子（YOSHIDA Nahoko）

2018 年　F６号　＜材質＞楮紙、岩絵具、金箔、膠

福岡県柳川市では、雛祭りの時期に行われる「さげもん祭り」という、町のあちこちにさげ雛やお雛様が飾られる行事があります。この作品はそのお祭りの中で、赤い毛氈の上に雛飾りが置かれていた様子を描きました。
私は福岡県出身で、地元ではないのですが柳川のさげもん祭りのことを小さい頃から知っていたので、いつか絵に描きたいと思っていました。これからも描きたい題材です。

油絵展示作品「睡蓮」　　アブドサラム アリキン（Abdusalam ERKIN）

2019 年　F 10 号　＜材質＞パネル、和紙、銀箔、テンペラ油彩混合技法

この作品は、日本画で学んだ「揉み紙」と言う技法を油彩画に取り入れて制作しました。日本文化の「わび」、「さび」と言う美意識からインスピレーションを受けて、作品にあえて古い質感を出し、時間と言う無形のものの表現を目指しました。そして、この 「わび」、「さび」の美意識を今後の作品にも取り入れていきたいと考えています。

工芸展示作品「優しいかたち」　　塚本 結（TSUKAMOTO Yui）

2020 年　　100×130×200 ㎜　　＜材質＞ 銀、真鍮、七宝

工芸技法の一つの鍛金技法は、手が触れた時になめらかな手触りになるように何度も何度も金属を叩きます。そうしてできた金属の独特なハリや光沢によって感じる、温かさや優しさに着目し、2 匹の寄り添うふぐを制作しました。質感や表情などから、相手を思う優しさやその喜びを感じてもらえると嬉しいです。

工芸展示作品「十二風景　四十七処」　　叶 沙結理（KANAI Sayuri）

2020 年　　62×39×93.58(ケース収納時)×12 個、53.98×85.6(カード)×51 枚　　＜材質＞ 紙、アクリル板

旅行先で集めたくなる、４７都道府県の特徴を描いたカード。１枚１枚には各都道府県を代表するモチーフがカットされており、１２の地方毎にカードを集めると、今度はそれぞれの地方ならではの風景が現れます。
また、地方ごとに用意された専用のアクリルケースにカードを収納すると、立体的な景色として鑑賞することもでき、お部屋に飾ると、その地方の旅の記念になります。

彫刻展示作品《無題》Untitled　　ヤスミン フルスト（Jasmin HURST）

2008 年　　＜材質＞白御影石

私は 2007 年秋から一年間、交換留学生としてドイツのアラヌス大学（ボン近郊）から広島市立大学にやって来ました。私が初めて広島を見たときの印象は、古い伝統的な家がほとんどなく、ゆっくりと成長した美しい都市の感覚が感じられなかったということです。広島は原爆で破壊された後、人々のために早く居住空間を確保する必要がありました。
私にとって、家は人間と歴史の強いシンボルです。私は広島のこのような歴史の中で建てられた高層建物を、その象徴として創りました。

彫刻展示作品「Slow Step」　　池田　美和子（IKEDA Miwako）

2009 年　　＜材質＞砂岩

「ゆっくり」という言葉はさまざまな意味で使われますが、時に人に安心感を与えるような気がします。
「すこしゆっくりしよう。」
そんな「ゆっくり」を表現しようと思い制作しました。牛の親子が水辺を静かに歩いている様子です。穏やかな気候、見守られている安心感、やさしい水や風の音、そんなイメージを込めながら「ゆっくり」を表現してみました。